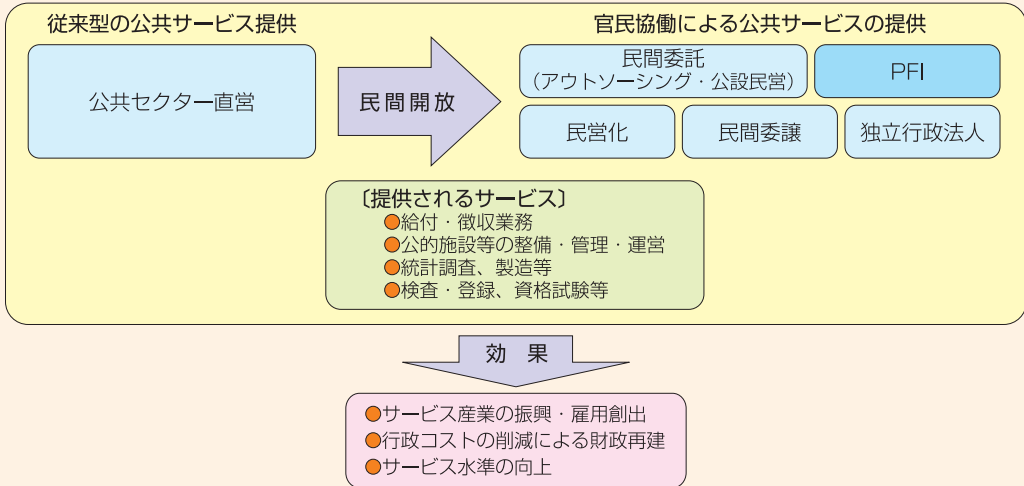


5 PFI

PFIの位置づけ



資料：経済産業省・経済産業研究所、規制改革・民間開放推進会議等

政府が推進する公共サービスの民間開放は、従来公共が直接提供してきたサービスを民間に開放し、市場競争を通じて効率的で質の高いサービスを提供するとともに、新たな市場の創出を目指すものである。提供される公共サービスの属性によって、民間委託、民営化、民間委譲、独立行政法人化などの手法があり、このうち公共施設等の整備・管理・運営については、PFI、指定管理者制度などが活用される。

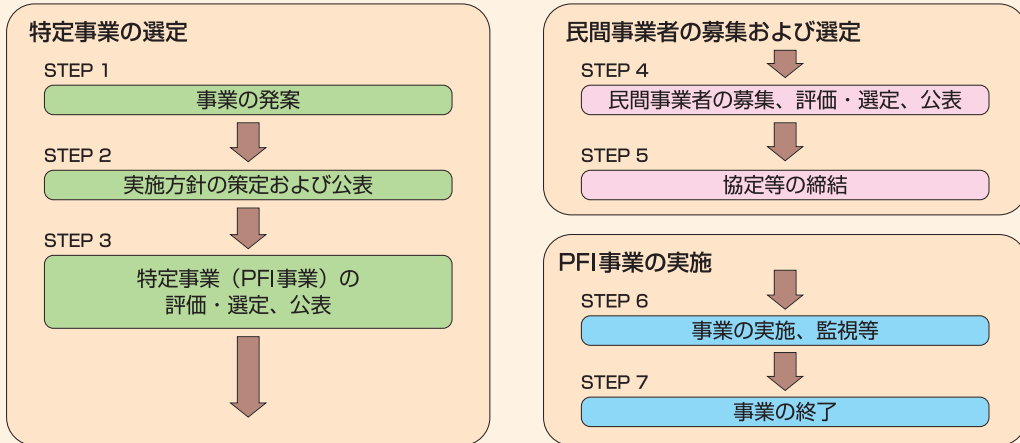
05年度からは従来の民間開放（基本的に民間同士が競争）に加え、これまでサービスを提供してきた公共と民間を競争させる「市場化テスト（官民競争入札）」が試行される。

PFIの概要

PFI	Private Finance Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)の略 民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して公共施設の建設、維持管理、運営などを行う手法。
PFI事業の性格	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共性のある事業であること。 ● 民間の資金、経営能力および技術的能力を活用すること。 ● 民間事業者の自主性、創意工夫を尊重し、効率的、効果的に実施されること。 ● PFI事業の選定、事業者の選定において公平性が担保されること。 ● PFI事業の発案から終結に至る全過程を通じて透明性が確保されること。 ● 事業プロセスの各段階での評価決定について客観性があること。 ● 官民間の合意について、当事者の役割および責任分担等の契約内容が明確にされること。 ● 事業を担う企業の法人格または事業部門の経理上の独立性が確保されること。

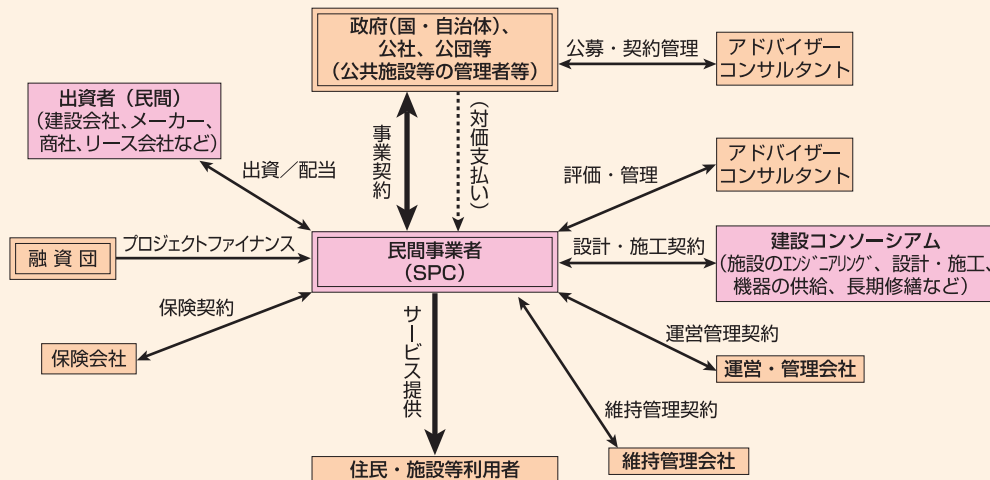
PFIは90年代初頭に英国で行財政改革の一環として導入された。わが国では99年9月に施行されたPFI法に基づき、これまでに国25件、地方公共団体145件、特殊法人・その他の行政法人26件の計196件の事業の実施が決定し、うち60件はサービスの提供が開始されている。(05年5月現在)

PFI事業のプロセス



PFI事業は発案から終了まで極めて長期にわたるが、PFI導入の主たる目的であるVFM（バリュー・フォー・マネー、「支払いに対して最も価値の高いサービスを提供する」という考え方）の最大化を実現するためには、上記事業の各ステップにおいて官民リスク分担のあり方や選定の透明性・公平性の確保など、PFIの基本原則に則った事業推進が求められる。

PFI事業のスキーム例



(注) □ はPFI事業の三大プレイヤー
 □ には建設会社が直接関わる

PFI事業に対する建設会社の関わり方としては、民間事業者（SPC）の代表として事業全般の責任を担うケース、民間事業者の一員として主に施設建設を担うケースなど、事業の種類、各企業の戦略によって様々である。

PFIの活用が広がる一方で、04年には全国初の破綻事例が発生した。また制度面、運営面の問題点も各方面から指摘されていることから、政府はPFI法の改正案を国会に提出中である。(05年5月現在)